

河村誠治先生のご退職にあたって

河村誠治先生は、昭和29年8月のお生まれで、昭和53年に山口大学経済学部を卒業した、経済学部OBでもあります。卒業後は一旦広島相互銀行（現在のもみじ銀行）に入行されますが、翌年には日中平和観光株式会社へ転職なさいます。この時点で、すでに観光研究へのアプローチが始まっていたのではないかと推察しますが、平成2年に九州大学大学院経済学研究科を修了され、平成4年に財団法人国際東アジア研究センターへ就職されます。国際東アジア研究センターでは、当学部の野村淳一先生ともご一緒だった時期があると伺っています。その後、平成12年4月に長崎国際大学人間社会学部の助教授として赴任され、平成17年4月山口大学経済学部教授として採用されます。その後の活躍はみなさんのご存知のとおりです。

経済学部へ赴任後は、教育・研究および運営に大いに貢献していただきました。まず、教育面では、学部学生および大学院生の観光経済分野の理解の向上ばかりでなく、共通教育での中国語の基礎教育を担っていただきました。「観光政策概論」、「観光産業総論」、「中国語初級ⅠA」、「中国語初級ⅡA」、「観光経済研究」などを通じて多くの優れた卒業生および修了生を世に送り出していただきました。

学内においては、経済学観光政策学科長、労働安全衛生委員会委員および教学委員会委員を歴任するなど、山口大学の管理運営に尽力いただきましたし、細かいことを言えば、研究科運営委員会委員長、就職支援委員会委員長、教務委員会委員長などもやっていたいただきました。

また、学外においては国土交通省中国運輸局中国地方交通審議会委員、山口県観光戦略会議委員、防府市観光振興推進協議会委

員長，周防大島町指定管理者選定委員会委員長など，まだまだ，ここには書ききれません。それだけ多くの社会貢献にも尽力していただきました。

学術研究面では，観光経済，観光産業，観光政策上の諸問題について，ほぼ四半世紀にわたり，質と量の両面から研究を重ね，多くの研究業績を残しました。平成16年には『観光経済学の基礎』を九州大学出版会から出版されましたが，これはそれまでの研究の集大成といえるものです。これまで，モノづくり重視の我が国にあって，それまであまり光の当てられなかった観光サービスを科学するように取り組んでこられ，また，米・中・仏での観光教育機関や現地の調査および学术交流を通じ，理論，政策，歴史・制度の三面からの観光研究の国際標準化とともに，観光人材育成のあり方を検討してこられたことは特筆されるべきであろうと思います。

河村先生の経歴からもわかるように，河村先生の豊かな人生経験の中で培われた多くのことを今後も若い人たちに少しでも多く伝えていただければと願っております。さらに山口大学経済学部卒業生として，今後の経済学部を暖かく見守っていただければ幸いです。今回，無事に定年を迎えられ，経済学部の一員として河村先生をお送りできることに真の感謝と，そして，スタッフ全員の拍手をもって巻頭の辞とさせていただきます。これまで18年間本当にありがとうございました。

令和2年3月31日

山口大学経済学部長 兵 藤 隆